

氏名	
----	--

点数	点/100点
----	--------

各論演習 4-1

問1)

次の当工場における8月の資料にもとづいて、間接経費の消費額を求めなさい。

1. 支払経費に関する資料
 事務用消耗品費 当月購入額58,000円
 旅費交通費 前月末払額22,000円 当月支払額198,000円 当月未払額63,000円
 保管料 前月前払額45,000円 当月支払額260,000円 当月前払額46,000円
2. 測定経費に関する資料
 (1) 電力料 当月支払額152,000円 当月測定額150,000円
 (2) ガス代は毎月25日の検針にもとづいて支払っている。
 当月支払額68,000円
 当月消費量490m³ 基本料金20,000/月 従量料金90円/m³
3. 月割経費に関する資料
 減価償却費 年額1,380,000円
 修繕引当金繰入額 年間見積額960,000円
 保険料 12か月分 720,000円
4. 発生経費に関する資料
 材料の帳簿棚卸高は1,385,000円、実地棚卸高は1,380,000円であった。なお、棚卸減耗は正常なものである。

解1)

事務用消耗品費		円
旅費交通費		円
保管料		円
電力料		円
ガス代		円
減価償却費		円
修繕引当金繰入額		円
保険料		円
材料棚卸減耗費		円
合計		円

氏名	
----	--

点数	点/100点
----	--------

各論演習 4-2

問1)

次の資料にもとづき、(株)煮雅菜夏の京都工場における当月の製造間接費を算定しなさい。

1. 材料に関する資料
 - (1) 直接材料である白菜等の野菜の月末帳簿棚卸高は750,000円であり、実地棚卸高は745,000円である。両者の差額のうち4,500円は食いしん坊社員による窃盗と判明した。
 - (2) 補助材料である塩等の月初棚卸高は20,000円、当月購入高350,000円、月末棚卸高14,000円である。
 - (3) 当月の消耗工具器具備品である包丁等の実際購入額は7,800円であった。
2. 賃金に関する資料

京都工場では、直接工に対する賃金は予定平均賃率1,200円/時間で計算している。当月の直接工の直接作業時間は1,080時間、間接作業時間は620時間、手待時間は8時間であった。また間接工の当月作業時間は1,200時間であり、当月の実際支払賃金は715,000円、当月末払賃金は247,000円、前月末払賃金は252,000円であった。
3. 経費に関する資料
 - (1) 京都工場の火災保険料の向こう1年分360,000円を現金で支払った。
 - (2) 工場建物の減価償却費は1年分で3,981,864円の計上を予定している。
 - (3) 電力料の当月支払額は21,888円であるが、工場メーターによる測定値にもとづいた金額は24,200円である。
 - (4) 工場長の出張旅費8,300円を現金で支払った。

解1)

製造間接費		
間接材料費		円
間接労務費		円
間接経費		円
合計		円

氏名	
----	--

点数	点/100点
----	--------

各論演習 4-3

問1)

以下の取引について仕訳を行いなさい。ただし、使用できる勘定は次の中から選択し、仕訳不要の場合はその旨を記載しなさい。

(使用できる勘定)

現金預金、材料、部品、仕掛品、製造間接費、外注加工賃、買掛金、未払金、未収入金、有償支給取引に係る負債

(当月の取引)

- 主材料80個を下請業者に無償で支給（材料の原価@2,000円）し、そのメッキ加工を依頼した。
- メッキ加工された主材料が下請業者より納入され、そのすべてをただちに工場現場に引き渡した。なお1個あたりの加工賃は@70円であった（未払い）。

解1)

1.	借方		貸方	
	勘定科目	金額	勘定科目	金額
2.	借方		貸方	
	勘定科目	金額	勘定科目	金額

氏名	
----	--

点数	点/100点
----	--------

各論演習 4-4

問1)

以下の取引について仕訳を行いなさい。ただし、使用できる勘定は次の中から選択し、仕訳不要の場合はその旨を記載しなさい。

(使用できる勘定)

現金預金、材料、部品、仕掛品、製造間接費、外注加工賃、買掛金、未払金、未収入金、有償支給取引に係る負債

(当月の取引)

- 主材料1,200個を下請業者に無償で支給（材料の原価@400円）し、そのメッキ加工を依頼した。
- メッキ加工された主材料が下請業者より納入され、いったんそのすべてを部品として倉庫に格納した。なお1個あたりの加工賃は@30円であった（未払い）。
- 上記部品のうち、70個を庫出した。

解1)

1.	借方		貸方	
	勘定科目	金額	勘定科目	金額
2.	借方		貸方	
	勘定科目	金額	勘定科目	金額
3.	借方		貸方	
	勘定科目	金額	勘定科目	金額

氏名	
----	--

点数	点/100点
----	--------

各論演習 4-5

問1)

以下の取引について仕訳を行いなさい。ただし、使用できる勘定は次の中から選択し、仕訳不要の場合はその旨を記載しなさい。

(使用できる勘定)

現金預金、材料、部品、仕掛品、製造間接費、外注加工賃、買掛金、未払金、未収入金、有償支給取引に係る負債

(当月の取引)

1. 材料2,000個 (@60円) を掛けて購入した。
2. 上記のうち900個を協定価格@63円で下請業者に有償支給し、そのメッキ加工を依頼した。当該下請業者との外注加工契約において、支給材料のすべてを当社は買い戻す義務があることを締結している。
3. 下請業者から加工の終了した部品900個が納入されたので、検定後、部品勘定に計上した。なお、1個あたりの加工賃は@17円、したがって下請業者からの受入価格は@80円である。
4. 下請業者に対する当月発生 of すべて of 債権債務を相殺し、その差額 (メッキ加工賃) を現金で支払った。

解1)

1.	借方		貸方	
	勘定科目	金額	勘定科目	金額
2.	借方		貸方	
	勘定科目	金額	勘定科目	金額
3.	借方		貸方	
	勘定科目	金額	勘定科目	金額
4.	借方		貸方	
	勘定科目	金額	勘定科目	金額